

Newsletter: 日本音韻論学会 (PhSJ)

第 26 巻第 3 号 (通巻 77 号)

2023 年 1 月 16 日

音韻論フォーラム 2022 報告

去る 8 月 24 日～25 日、音韻論フォーラム 2022 がオンラインにて開催されました。海外研究者による基調講演 4 件 (Eon-Suk Ko 氏と Jongho Jun 氏、Soo-Hyun Kwon 氏、Wayne Lawrence 氏、陳彥氏)、学位取得者講演 2 件 (守本真帆氏、増田正彦氏)、一般研究発表 5 件が行われました。

第 1 日: 66 名、第 2 日: 59 名の参加者があり (1 日ごとの Zoom の最大アクセス数より算定)、質疑応答も活発に行われました。第 1 日プログラム終了後、オンラインによる懇親会が開かれました。開催に際してご尽力いただいた関係者の皆様に、改めてお礼申し上げます。

当初は 3 年ぶりの会場開催 (成蹊大学の予定) とオンラインのハイブリッド方式での開催を計画しておりましたが、折からのコロナ禍のため、会場開催を断念せざるを得ませんでした。来年は会場で開催できますことを望んでおります。

2023 年度春期研究発表会について

2023 年度春期研究発表会を 2022 年 6 月 3 日 (土)、オンライン (Zoom) にて開催いたします。同日には会員総会も行われます。会員の皆様には、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。博士取得者講演として、平子達也氏 (南山大学) 「石川県能登島諸方言のアクセントに関する史的考察: 語頭隆起後のアクセント変化を中心に」、また、上田功氏 (名古屋外国語大学) の特別講演を予定しています。詳細は 5 月上旬に発行予定の次号 Newsletter でお知らせいたします。

2023 年度春期研究発表会発表募集

上記の 2023 年度春期研究発表会での研究発表を、下記の要領で募集します。ぜひ皆様の日頃の研究成果のご発表にご活用ください。

本研究発表会での発表内容は、編集委員会による査読を経て、『音韻研究』第 27 号 (2024 年 3 月、開拓社から刊行予定) に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、原則として 8 ページです。

〈応募要領〉

発表テーマ: 音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語: 日本語または英語。

発表形態: 一般発表

送付方法: いずれの発表形態の場合も (1) 要旨、(2) 発表者情報を別のファイルに記載し、下記の担当理事宛に送信すること。

応募資格: 会員のみ応募可能。ただし共同発表の場合は筆頭発表者が会員であればよい。

応募件数: 同一発表者による応募は 2 件以内とし、このうち筆頭発表者としては 1 件とする。

(1) 「要旨」にはタイトルと発表要旨のみを記入する (氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合 2000 字以内、英語の場合 800 語以内とする。ページを改め、参照文献一覧を 1 ページ以内で示す。

(2) 「発表者情報」には、氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載する。

E メールで PDF ファイルを送信する (PDF ファイルの作成が不可能な場合は、Word ファイルにて作成する)。E メールでの応募ファイル添付ができない場合などは、事前に担当理事に連絡すること。

書式: A4 サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り: 2023 年 3 月 31 日 (金)

送付先: 高山知明 (春期研究発表会担当理事)

E-mail: tomotaka[at]staff.kanazawa-u.ac.jp

*[at]を@に置き換えてください

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効としますので、ご注意ください。4 月中旬に採否を通知予定です。

音韻論フォーラム 2023 予告

2023 年度は以下の要領で音韻論フォーラムを計画中です。

期日: 2022 年 8 月 21 日 (月) ～25 日 (金) の中で連続した 3 日間

会場: 目白大学 (東京都新宿区) + オンライン

新型コロナウイルス感染症への対応について予測できない状況が続いております。開催日時、開催方法につきましては、引き続き理事会を中心に審議して参ります。会員の皆様にはご心配とご迷惑

をおかけしますが、今しばらく決定をお待ち頂きたく存じます。

研究発表の募集など詳細につきましては、5月上旬に発行予定の次号 Newsletter で、改めてお知らせいたします。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入可能です。また、『20周年記念論文集』(2016)や本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』(1996)についても、特別価格で購入可能です。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

また、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購入を御検討のほどよろしくお願いたします。

開拓社『音韻研究』係
〒112-0013 東京都文京区音羽 1-22-16 二見ビル5F
TEL:03-5395-7101 (代表)
FAX: 03-5395-7105
E-mail: kawata[at]kaitakusha.co.jp
([at]を@に置き換えてください)

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

E-mail 末尾にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち1,2は、それぞれ2021, 2022の各年度の会費が未納であることを意味します。アスタリスクは会費納入済みであること、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*2[5t]」と印字されていれば、2022年度の会費が未納であり、その総額が5,000円であることを意味します。

ご確認の上、未納の会費を以下のとおり郵便振込で納入していただきますよう、お願いいたします(『音韻研究』送付時に学会名および口座番号印字の振込用紙を同封いたしますのでご利用ください)。

郵便振込
口座番号：00180-6-402077
加入者名：日本音韻論学会

他行から：ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキ
ュウ)店(019)当座0402077

年会費 維持会員：10,000円
通常会員：5,000円
学生会員：4,000円

「維持会員」の申請方法が明確化されました。維持会員は、本会を格別に支援して下さる会員です。**年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。**維持会員をご検討、ご希望の方は**事務局会計**までご連絡ください。維持会員の申請が執行部で承認されましたら、追って当年度の維持会費¥10,000の請求書をお送りします(メール添付にて)。正式な維持会員の承認は当年度末までに開かれる理事会でなされることとなります。

また、会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい(学生会員から通常会員へ変更となる場合なども必ずご連絡下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんのでご注意願います。

～～～日本音韻論学会事務局～～～

【事務局長】

桑本 裕二(松江工業高等専門学校)
〒690-8518 松江市西生馬町14-4
松江工業高等専門学校 人文科学科
TEL: 0852-36-5163 (直通)
E-mail: ykuwamoto[at]icloud.com

【会計】

植田尚樹(北洋大学)
〒059-1266 北海道苫小牧市錦西町3丁目2-1
北洋大学
TEL: 0144-61-3272 (直通)
E-mail: n_ueta[at]hokuyo.ac.jp

【書記】

ファン チューコー
黄 竹佑(名古屋学院大学)
〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1-25
名古屋学院大学 外国語学部
TEL: 052-678-4078 (内線2755)
E-mail: huang[at]ngu.ac.jp
※E-mailアドレスは、[at]を@に置き換えてください。

日本音韻論学会ウェブサイト: <http://www.phsj.jp>

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～